

# 日本語学習支援ネットワーク会議09 in FUKUSHIMA

10:10~11:40 基調講演

「外国にルーツを持つ子どもたちを取り巻く現状と課題」

講師：佐藤郡衛さん（東京学芸大学国際教育センター教授）

11:40~12:00 報告

「福島県における外国出身児童生徒の現状」 & 「福島県内の日本語教室の現状と課題」

昼食（12:15~12:45 ミニ講座「日本語ボランティア向け在留資格の基礎知識」）

※こちらは昼食時に行われます。参加は自由です。

13:00~15:00 分科会

## 分科会 A

「日本語教室における学習者と活動者間のコーディネート」

<司会>

内海由美子さん（山形大学）

<発題>

瀧藤憲子さん

（ニイガタヤポニカ）

河北佑子さん

（財）武蔵野市国際交流協会）

<内容>

日本語教室には学習者と活動者（支援者・コーディネーター）がそれぞれの立場から関わっています。円滑な教室運営には学習者と支援者の相互理解が必要であると同時に、教室の目的や役割を見きわめて調整を果たすコーディネーターの役割も重要ではないかと考えます。この分科会では日本語教室運営に関するさまざまな論点を提起し、問題の共有と意見交換を行います。

<キーワード>

学習者のニーズ、支援者の人材確保とマッチング、支援者のスキルアップと蓄積

## 分科会 B

「外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習支援と学校教育」

<司会>

市瀬智紀さん（宮城教育大学）

<発題>

三瓶 隆さん

（本宮市教育委員会幼保学校課）

田所希衣子さん

（外国人の子ども・サポートの会）

<内容>

従来の枠を越えた帰国子女の増加や、呼び寄せ時の高学年化など、外国にルーツを持つ子どもたちの学校への入進学に関わる問題がより多岐に亘り複雑になってきています。この分科会では、実際に直接、子どもたちと関わっているサポーターの視点と、それをバックアップする行政の視点の二つの視点を軸に、学校教育と日本語学習支援について考えていきます。

<キーワード>

外国人の子どもの現状と課題、学校文化とサポーターの役割、教育行政のバックアップ

## 分科会 C

「日本語教室と地域コミュニティ」

<司会>

富谷玲子さん（神奈川大学）

<発題>

三田真理子さん

（国際交流の会・かるみあ）

北川裕子さん

（のしろ日本語学習会）

<内容>

多様な背景を持つ在住外国人は、地域社会の中で生活するにあたり、どのような支援を必要としているのでしょうか。また彼らを受け入れる地域の側はどのような問題を抱えているのでしょうか。この分科会では「地域社会との共生」を意識した活動事例を紹介し、住みやすいまちづくりのために「地域の日本語教室」が果たしうる役割について意見交換を行います。

<キーワード>

多文化共生、地域住民との交流、地域への発信

15:15~ 全体会

司会・総括：佐藤郡衛さん（東京学芸大学国際教育センター教授）